

萩原町自治会は ライン ワークス 『LINE WORKS』を活用します

萩原町自治会長
細谷菜穂子

『自治会活動に求められていること』

昨年は元旦から能登半島を襲う大きな地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。被災直後の救助活動は隣近所の人々の助けなしには進まないということを私たちは改めて認識させられました。そのような状況の中で、防災や地域のつながりなど現場に近いところについては行政だけでは限界があり、地域の共助の仕組み作りは自治会が担う必要があります。

『今、なぜLINE WORKS?』

それらの活動の元になるのは隣近所の人を普段から知っておくことです。公園や集会所の掃除、防災訓練、ふれあいまつりなどに参加することで町内に住む人のことを知ることもできますが、現役世代の人はその時間も惜しいかもしれません。共働き世帯の増加により、仕事と地域の活動の両立に負担を感じる家庭が増えているからです。

また、昔からのやり方を継続しているため、会合の進め方や運営の仕方が非効率で、インターネットやSNSで情報を共有できる時代に回覧板などは不要、自治会の中身も見えにくいという声もあります。昨今ではスマホを持っている人の8割以上の人々が『LINE』を使っています。60代、70代の人々の利用者もそれぞれ8割、7割以上です。使いやすいというのがその理由の一つでしょう。

LINEの使い勝手の良さを残し、セキュリティを高め、ビジネスでも使えるように機能を充実させたのがLINE WORKSです。LINE WORKSは忙しい現役世代の人でもスキマ時間を使って、自治会活動に参加するためのツールとして適しているのではないかと思います。現在の登録者は40名です。

『LINE WORKS でできること』

① 『チャット』

LINEでよく使う機能でトークと呼ばれています。「ゴミ集積所のネットが破れている」、「危険な箇所がある」など、住み良い町にするための意見や情報の交換に。スタンプも使えます。



③ 『カレンダー』

自治会全体のカレンダーで公園掃除や防災訓練の日時を確認、グループ毎のカレンダーで仲間内の予定の共有化。



② 『掲示板』

町民全体への連絡事項を掲示。長寿会や子供会でグループを作ってメンバーの間で情報のやり取り。



④ 『アンケート』

災害発生時の安否確認や要支援者のアンケートにも利用でき、回答も集計も楽。

◆◆◆安否確認やアンケートなど業務の効率化のために普及を進めたいと考えています。加入方法は次のページです・・・

加入方法

1

《LINE WORKS スマートフォンアプリのダウンロード》



<iOS>
(iPhone・iPad・iPod touch)
App Storeから
ダウンロード
<Android>
Google Playから
ダウンロード

LINE WORKSをスマートフォンで利用するためには、あらかじめアプリをインストールしておく必要があります。

まずは左のQRコードを読み取り、スマートフォンアプリをダウンロードしましょう。

2

下のQRコードを読み込んで入力画面に進んで下さい



3

画面に従って必要事項を入力して下さい

- (1) 「メンバーとして招待されました」の画面で「メンバーとして加入する」をタップ
- (2) 「加入する」をタップ
- (3) 姓と名を漢字・ひらがなで入力後「次へ」をタップ
- (4) 国と携帯番号をハイフン、スペースなしで入力し「携帯番号へ認証番号を送信」をタップ

または、「ID/パスワードで加入する」をタップ

- (携帯番号は認証のためだけに使われ、管理者も知ることができないので安心です)
- (5) 携帯のSMS（ショートメッセージ）で受信した4桁の認証番号を入力
 - (6) 加入完了です。再ログインする場合は「携帯番号でログイン」を選択してログインしましょう

自治会のHPにも導入から実際の使い方までのガイドを載せていますので、③で出来なかった方はこちらも参考にしてください。(両方とも5MBほどあります)

スマホ用



PC用

